

コンサルタント訪問

夏休みが終わりました。人生最長の約30日の長い夏休みも私の体感的には5日くらいでした。 鹿中生は元気に学校に戻ってきてくれ、ここからは文化祭に向けての動きが本格化していきます。

そんな最中ではありますが、私は近頃緊張しながら毎日を過ごしています。それは来週9月2日ー3日に「コンサルタント訪問」というものがあるからです。

前にも少しご紹介しましたが「コンサルタント」というのはIB機構に正式に認定を受けたIB教育のスペシャリストであり、今回は鹿追中学校が候補校になって以来、1年半に渡りオンラインでのコンサルを務めてくださっている方が実際に本校へ来校されます。
(↓4月のガイダンス資料より)



IBの認定に向けては定められた沢山の要件を達成していかなければなりません。コンサルタントはこれについて2日間の訪問を通して本校の進捗状況を把握し、IB本部に報告をするとともに、現在満たせている部分や足りない部分についてアドバイスをしてくださるというのが今回の主旨です。

端的には認定に向けた一次試験の様なものだにご理解ください。

コンサルタントの先生は

「あくまで御校をサポートするための訪問ですので、あまり緊張せずに臨んでくださいね！」とおっしゃってくださいます。

ですが、、、想像してみてください。

- ①あなたは超人気ラーメン店で師匠の下厳しい修行を積んだ駆け出しの料理人です。
- ②あなたは修行を経て、自分のラーメン店を出しました。
- ③ある日、師匠から連絡があり、今度あなたのラーメンを食べに来るということになりました。

はい、どうですか？



・・・そうですね。

さて、私と、各担当の先生方の夏休みの大半はその資料作りに終わったわけですが、資料のチェックと同時に行われるのが「面接」です。

面接ではほぼ全職員が30分程度ずつ、主にIBに関する理解度を試される質問や、授業の取組方についての説明などを求められることとなります。ここについては、鹿追中の先生方は実力派揃いですので、あまり心配はしていません。

それからこの面接にはなんと、「生徒」や「保護者」との面接も設定されています。

そこで、夏休み前にこの様にポスターを貼りボランティアの募集をかけたところ、なんと各学年から6名もの生徒が協力を申し出てくれました。

今週昼休みにその6人に集合してもらい、面接の概要と、「多分こんなことを聞かれるよ。どう答える？」と試しに一人一人に話してみてもらったのですが、、、

それぞれの回答のレベルの高さに聞いていた私と校長先生は目を丸くしたのでした。

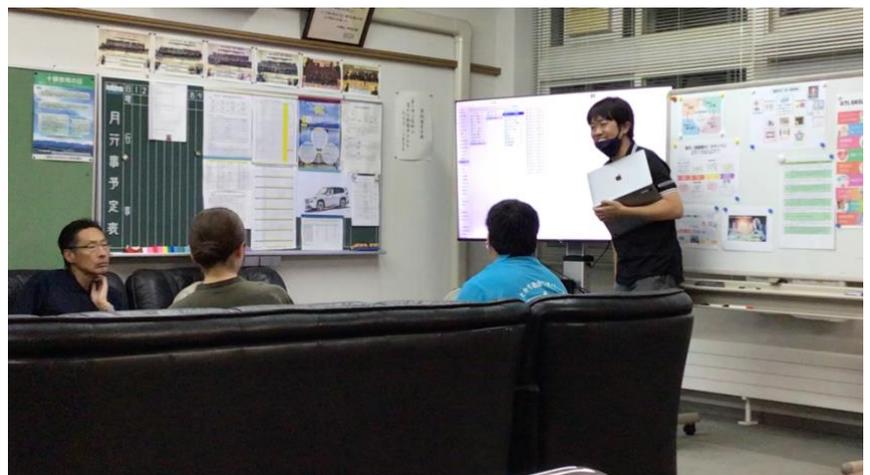
自分が今どんな教育を受けているのか、そしてそれが自分の未来にどんな影響を及ぼすのかについて、10代前半の彼らがここまでの確に捉えて考えることができるのだなと、本当に誇らしく感じました。それとともに、コーディネイターとして半端なものを提供するわけにはいかないなというモチベーションをもらいました。





よし、生徒面接はバッチリだ。

次に保護者面談。今週水曜日にお集まりいただき、改めてIBの教育の特徴やこれからの子どもたちに本当に必要な学びについて、4月からこれまでの子どもたちの実際の取組の映像や資料を交えつつ説明させていただきました。



拙い説明でしたが、面接を受けていただく保護者のみなさまが
要点をきちんと抑え、ポジティブに捉えていただけた様子が伺え
安心しました。

ということでこちらもバッチリ。

・・・あれ？こうして書いて行ってみると・・・ そんなに緊張しなくてもいいのでは？ そうですね！チーム鹿追の皆様の素晴らしい連携と連帯に感謝です！むしろ公立中学校でここまでやれるのかと、師匠を驚かせてしまいましょう。

ダメ出しがくるとしたら私の作った拙い資料たちの方ですね、、、

ギリギリまで改修作業を続けなければなりませんので今日の通信はここまでとさせていただきます。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

一次試験、みんなで頑張ります！

バックナンバー	概要
<p>鹿中 IB 通信 NO.1</p> <p>↑クリックするとアクセスできます。</p>	<p>この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か?について書いています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.2</p>	<p>年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.3</p>	<p>こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）を IB 視点で解説しています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.4</p>	<p>参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.5</p>	<p>参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.6</p>	<p>IB 教育の大きな柱であるATL スキルと 10 の学習者像とはどういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。</p>

<p><u>鹿中 IB 通信 NO,7</u></p>	<p>十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,8</u></p>	<p>子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,9</u></p>	<p>「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,10</u></p>	<p>「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。</p>